

中

編

(自昭和十年二月
至同年四月)

兵器製造取引取締委員會議事經過報告

(昭和十年二月乃至四月)

第一章 概 説

一、武器製造取引委員會ハ二月十四日議長「スカヴェニウス」(丁)ノ下ニ會合、客年十一月二十日米代表部ノ軍縮幹部會ニ提出シタル條約案(Conf. D. 167)ヲ討論ノ基礎トスルニ決定、直ニ一般討論ヲ開始、二十六日之ヲ終了、三月一日ノ會合ニ於テ米提案第一章(武器類別)ノ審査ヲ類別専門分科會ニ、第二章(製造)ノ審査ヲ製造分科會ニ、第三章(取引)ノ審査ヲ取引分科會ニ回付シタリ

二、類別専門分科會ハ「ベニテツ」議長(西)ノ下ニ三月十一日乃至十九日會合十回ニシテ條約案第四條ニ掲ケラルル武器類別案ヲ作成シ、又製造分科會ハ「コマルニツキ」議長(波)ノ下ニ三月四日乃至二十一日會合十回取引分科會ハ「コマルニツキ」議長(波)ノ下ニ三月十九日乃至二十二日會合四回ニシテ夫々製造問題及取引問題ノ審議ヲ了シタリ尙製造分科會ハ其ノ審議中各種技術的問題ニ關シ類別専門分科會、製造専門分科會(事實上類別専門分科會ト同體異名ノモノナリ)及國防費専門分科會ニ對シ質問ヲ發シ其ノ協力ヲ求ムルトコロアリタリ

三、武器製造取引委員會ハ三月二十五日ヨリ四月一日ニ至ル間主トシテ米提案第四章(監督)ヲ審査シタリ右審査ニハ三月一日ノ委員會決議ニ從ヒ一般規定委員會委員ニシテ武器製造取引委員會委員タラサル者ノ參加ヲ見タル外一般規定委員會議長「ブールカン」ハ委員會事業報告書第二編(條約案)及第三編(條約案ニ關スル各國代表ノ意見及留保)中監督問題ニ關スル部分ノ起草ヲ擔當シタリ

四、武器製造取引委員會ハ條約前文、米提案第二條(武器ノ製造取引ニ對スル國家ノ監督責任)、第十六條(輸出入許可狀制度ノ適用除外例)戰時ニ於ケル條約ノ適用停止、中立、特殊ノ場合ニ於ケル條約ノ適用除外、武器禁輸、通商條約等ニ關スル諸問題ヲ研究セシムル爲メ法律家委員會ヲ設置シタリ法律家委員會ハ「オルジュ」議長(瑞西)ノ下ニ三月二十七日乃至四月六日會合十回ニシテ前記諸問題ノ審査ヲ終了シタリ同委員會ノ作成セル第二條及第十六條ノ新案文ハ夫々

條約案第一條及第十六條トシテ採擇セラレ又戰時ニ於ケル條約ノ適用停止、中立、特殊ノ場合ニ於ケル條約ノ適用除外、通商條約ニ關スル條文案ハ第五章（一般規定）トシテ條約案ニ掲載シ各國政府ノ研究ヲ求ムルコトト爲レリ

五、武器製造取引委員會ハ武器ノ通過取締問題ヲ研究セシムル爲小委員會ヲ設置シタリ 同小委員會ハ「ウェストマン」議長（瑞典）ノ下ニ四月四日、五日、八日三回ニ亘リテ會合審議シタルモ何等具體的結論ニ到達スルヲ得ス已ムナク通過取締問題ハ全部第二讀會ニ持テ越サルコトト爲レリ

六、武器製造取引委員會ハ四月九日及十日ノ會合ニ於テ委員會從來ノ討議ノ結果ヲ取纏メテ作成シタル條約案全文全體ニ亘リ逐條審議ヲ行ヒタリ但右審議ハ各條項ノ内容ニ亘リ議論スルコトナク單ニ各代表部ニ於テ贊否ヲ表明シ各條項ニ付全會一致アリヤ多數ノ贊成アリヤ又選擇の案文若ハ追加條項アルトキハ之ヲ支持スルハ何レノ代表部ナリヤ明ナラシムルニ止マレリ

七、武器製造取引委員會ハ四月十三日議長「スカヴェニウス」(丁)ノ下ニ公開本會議トシテ會合、報告者「コマルニツキ」提出ノ委員會第一讀會事業報告書（同報告書ハ第一編序言、第二編條約案、第三編條約案ニ對スル意見及留保ノ三編ヨリ成レリ）ヲ採擇シタリ

同日ノ會合ニハ折柄來壽中ノ軍縮會議々長「ヘンダーソン」モ出席シタリ

第二章 條 約 案

一、米提案ハ第一章（第一條）武器類別、第二章（第二條乃至第七條）製造、第三章（第八條乃至第十六條）取引、第四章（第十七條乃至第三十七條）監督ノ四章ヨリ成レルカ武器製造取引委員會ハ第一章（第一條乃至第四條）ニ總則（米提案第二條乃至第四條ニ該當ス）及武器類別ヲ規定シ、第二章（第五條乃至第七條）ニ製造、第三章（第八條乃至第十六條）ニ取引、第四章（第十七條乃至第四十條）ニ監督ヲ規定シ、第五章（A條乃至D條）ニ一般條項ヲ規定スルコト

トシタリ

二、武器製造取引委員會報告書第二編ニ掲ケラルル條約案ハ委員會審議ノ結果ヲ羅列セルモノ即チ委員會ニ依リ全會一致若ハ多數ヲ以テ採擇セラレタル條項ヲ中央欄ニ掲ケ、其他ノ條項ニ付テハ之ヲ提出若ハ支持シタル代表部ヲ明記シテ左欄（消極派提案）又ハ右欄（積極派提案）ニ掲ケタリ

三、條約案要綱（假譯）

前 文	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	英提案 日、伊、波支持 締約國ハ 自國領域内ニ於テ武器ノ製造及取引 カ國際公序ヲ保持シ且特殊ノ場合武 器ノ供給ヲ禁止又ハ制限スル目的ヲ 以テ協定セララルコトアルヘキ國際 的行動ノ迅速ナル實施ヲ容易ナラシ ムヘキ條件ノ下ニ行ハルコトヲ確 保スルノ全責任アルヲ承認シ 左記目的ヲ以テ條約ヲ締結スルニ決 定シタリ 一、各國ニ於ケル武器ノ製造、輸出 及輸入ノ國家監督 二、武器ノ製造、輸出及輸入ニ關ス ル「ジュネーヴ」ニ於ケル國際公表	

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第一章 第一條（武器ノ製造及取引ニ對 スル國家ノ監督責任） 各締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域 内ニ於テ本條約所定ノ公表書類ノ規 則の送付及正確性ヲ確保スル目的ヲ 以テ第四條第一乃至第五類ニ包含セ ラルル器材ノ製造及取引ニ對シ行使 セラルヘキ監督ニ付全責任ヲ負擔ス （註）本條ハ法律家委員會ノ作成ニ係ルモノ 全會一致採擇 第二條（法律制定義務） 締約國ハ本條約ノ規定ノ實施ヲ最嚴 格ニ確保スル爲必要ナル立法措置ヲ 執ルヘシ 締約國ハ之カ爲既ニ制定セラレ又ハ 制定セラルコトアルヘキ一切ノ法 律規則若ハ他ノ法規並ニ之ニ加フル コトアルヘキ一切ノ修正若ハ追加ノ	三、武器禁輸カ國際的ニ決定セラレ タル場合ニ於ケル有效ナル武器ノ 輸出禁止ノ即時施行ノ爲ニスル機 構ノ設定	

本文ヲ常設軍縮委員會ニ送付スヘ シ	英提案 伊、日支持	
（註）本條ハ英提案（C.C.F./58）ナリ 全會一致採擇 第三條（監督ノ受諾） 締約國ハ第四章ニ設定セラレ第四條 ノ類別ニ包含セラルル器材ノ製造、 輸出及輸入カ本條約ノ規定ニ適合ス ルヤ否ヤヲ審査スルコトヲ目的トス ル常設自働の監督措置ニ服スルコト ヲ約ス 第四條（武器類別） 本條約ノ爲ニ武器ノ五類ヲ制定ス 第一類 軍用器材 陸、海又ハ空中戰ノ爲ニ考案セラレ 又ハ使用セラレントスル兵器、彈藥 及軍用器材但此等カ第二類又ハ第三 類ニ屬スル器材ノ一部ヲ構成スルニ 至ル場合ハ此ノ限ニ在ラス 一、施綫銃及騎銃並ニ其ノ銃身及遊 底 二、各種口徑ノ機關銃、自働小銃及 自働拳銃並ニ其ノ銃身及遊底 三、各種口徑ノ加農砲、榴彈砲及臼 砲並ニ其ノ砲架、砲身、制動機及	締約國ハ本條約ノ實施ヲ確保スル目 的ヲ以テ、ハ、章ニ設定セラレタ ル措置ニ服スルコトヲ約ス	

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
復座機 四、第一號及第二號ニ列舉セラルル武器ニ使用スル彈藥第三號ニ列舉セラルル武器ニ使用スル裝填又ハ非裝填ノ彈丸及右彈丸ノ爲ニ用意セラルル拋射藥 五、榴彈、爆彈、魚雷及水雷（裝填又ハ非裝填）並ニ其ノ使用又ハ發射ノ裝置 潛水艦用潛望鏡 六、戰車、裝甲車及裝甲列車並ニ此等諸車用ニ形成セラレタル裝甲及防彈裝置附金屬板 第二類 海軍器材 一切ノ種類ノ軍艦（航空母艦及潛水艦ヲ含ム）並ニ軍艦ニ備付ケラレ且其ノ常規ノ武裝ノ一部ヲ成ス兵器、彈藥及器材 第三類 空軍器材		蘇提案 波、致支持 七、専ラ化學戰及燒夷戰ニ使用セラレントスル器具及物貨

一、組立テラレタル又ハ解體シタル、空氣ヨリ重キ又ハ輕キ航空機ニシテ其ノ考案又ハ構造上陸軍若ハ海軍ノ偵察又ハ機關銃若ハ大砲ニ依ル空中戰闘又ハ爆彈ノ運搬及投下ノ爲使用スルニ適シ又ハ之カ爲使用セラレントスルモノ或ハ第二號ニ規定セラルル器材ノ何レカヲ裝備セラレ又ハ右裝備ノ準備ヲ爲サレタルモノ 二、航空機用特殊加農砲及機關銃並ニ其ノ砲塔及砲架 爆彈架及魚雷運搬器並ニ爆彈又ハ魚雷ノ發射裝置 第四類 軍用及非軍用ノ目的ニ使用シ得ル兵器及彈藥 一、六百三十「グラム」ヲ超ユル連發拳銃及自動式拳銃並ニ其ノ彈藥 二、狩獵用又ハ護身用ノ如キ非軍用ノ目的ニ使用セラレ又ハ適合セル		蘇提案 第一類第四號ニ掲ケラルルモノ以外ノ火藥及爆藥並ニ其ノ製造原料
--	--	--

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
火器ニシテ第一類ノ火器ヲ以テ發射シ得ル彈藥ヲ發射スヘキモノ 第五類 一、組立テタル又ハ解體シタル空氣ヨリ重キ又ハ輕キ航空機ニシテ第三類ニ包含セララルモノ以外ノモノ 二、「プロペラー」、梭形機體、龍骨、尾翼及着陸裝置 三、航空發動機 四、第三號ニ掲ケラルル航空發動機ノ左記主要部分品轉把錐、「シリンドラー」及壓搾器 第二章 製造 第五條（製造許可狀制度） 締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ製造者カ民營工場ノ場合ニハ政府ノ發給スル製造許可狀ヲ、又、國營工場ノ場合ニハ政府ノ發給スル製造許可狀ヲ得ルニ非サレハ第四條第一、二、三類ニ包含セララル器材ノ製造ヲ禁止スルコトヲ約ス		

右類別ニ包含セララル器材ノ製造ハ民營工場ニ於テハ製造者カ各場合ニ豫メ正當ニ政府ニ通告セラレタル注文ヲ有スルニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス 第六條（製造許可狀） 製造許可狀ハ五年ヲ超エサル期間有效タルヘク、何時ニテモ取消シ得ヘク政府ノ決定ニ從ヒ五年又ハ之ヨリ短キ期間ニ付更新セララルヘシ 製造許可狀ハ左記ヲ掲記スヘシ 一、製造者ノ氏名及住所又ハ會社ノ商號、本店及主タル營業所 二、許可狀ニヨリ製造ヲ許可セラレタル器材ノ第四條第一、二、三類ノ項別ニ依ル指示 尙許可狀ハ製造者ノ受領スル一切ノ注文カ直ニ許可狀ヲ發給シタル政府ニ通告セララルヘキ旨ヲ規定スヘシ		蘇提案 締約國ハ許可狀發給締約國ヲ拘束スル協定ニ依リ定メララルコトアルヘキ量的又ハ質的制限ヲ超過スル器材ニ付製造許可狀ヲ發
---	--	---

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第七條（公表） 締約國ハ其ノ管轄ノ範圍内ニ於テ 左記ヲ常設軍縮委員會ニ送付スヘ シ 甲、條約ノ實施ヨリ起算シ三月内ニ 第四條第一、二、三類ニ包含セラレ ル器材ヲ製造スル國營工場ノ表、 該表ニハ各國營工場ニ付左記ヲ指 示スヘシ 一、工場ノ名稱及所在地 二、製造ノ認可セラレタル器材ノ 項別ニ依ル指示並ニ爾後一及二 ニ依リ要求セララル情報ニ變更		給セサルコトヲ約ス 伊提案 第六條ノ二 商船ハ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ 平時之ニ武裝ヲ施スノ準備ヲナスコ トヲ得ス但口徑六吋（百五十五）ミリ メートル）ヲ起エサル砲ヲ裝備スル 爲必要ナル甲板ノ補強設備ハ此ノ限 ニ在ラス

アル場合右變更後三十日内ニ一 切ノ變更		土提案
乙、條約ノ實施ヨリ起算シ三月内ニ 民營工場ニ對シ既ニ發給セラレタ ル製造許可狀ノ寫及各三月ノ満了 後三十日内ニ右三月内ニ下付、變 更、更新又ハ撤回セラレタル一切 ノ許可狀ノ寫ヲ含ム（之ナキ場合 ト雖）統計表 （註）本項ハ全會一致採擇 丙、一、會計年度ノ初頭 イ、當該年度中ニ政府ニ依リ製造 又ハ購入ノ豫定セララル第四條 第一、二、三類ノ器材（種類未 定）ノ數ノ統計表 ロ、第四條第一、二、三類ノ器材 ノ製造及購入ヲ目的トスル國防 費ヲ……項（未定）ニ付テハ項 別ニ又他ノ項ニ付テハ總額ニ依 リ指示スル統計表		「アフガニスタン」、「イラン」、 西、致、蘇、佛支持 ハ、出所ノ如何ヲ問ハス製造許可 狀所持工場又ハ國營工場ノ受領 シタル注文又ハ製造命令ノ表並

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
丁、國營工場及製造許可狀所持民營工場ニ依ル第一、三及五類ノ器材ノ注文ノ受領ヨリ十五日ノ期間内ニ右注文ニ關スル左記情報イ、製造セラルヘキ器材ノ指示並ニ其ノ數量及型(砲ノ口徑、戰車ノ噸數、航空機ノ特質等)ロ、注文國政府ノ指示ハ、民間製造者ノ氏名及住所(必要アル場合ニハ會社ノ商號、本店、主タル營業所)又國營工場ノ指示		ニ前記工場カ在庫品又ハ他ノ目的ノ爲實施セントスル同種類ノ製造ノ表、該表ハ右工場ノ製造開始前送付セラルヘシ 佛提案 西、「イラン」、蘇支持 ニ、決定セラルヘキ條件及期限内ニ第二類ニ屬スル一切ノ器材並ニ第一類及第三類ノ左記器材(未定)ノ製造開始ノ豫告

戊、曆年ノ滿了後三月内ニ第一、二、三、四及五類ノ器材ノ當該年度中ニ完了セラレタル製造統計表己、自國ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ軍艦ノ建造セラルル地域内ノ政府又ハ他ノ一切ノ政府ノ爲ニスル國營造船工場又ハ民營造船工場ニ於ケル各軍艦ノ起工後三十日内ニ左記情報ヲ掲クル統計表龍骨据付ノ日附及左ノ細目艦種及何國ノ爲ニ建造セラルルヤ 英噸及「メートル」噸ニ依ル基準排水量		佛提案 支、西、致、蘇支持 特ニ重要ナル器材(未定)ニ付テハ右情報ハ左記事項ニ依リ補充セラルヘシ右事項ハ後日通報セラレ得ヘキモ何レノ場合ニモ製造開始前常設軍縮委員會ニ通報セラルヘシ 製造地、製造開始豫定期日、製造豫定期間 右情報ハ第四條ノ各項ニ列舉セラルル製造器材ノ主要部分品ニ付テモ供給セラルヘシ
--	--	--

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員會ニ依リ採擇セラレタル條項	主要寸法即チ水線全長、水線ニ於ケル又ハ水線下ノ最大幅員、基準排水量ニ於ケル平均吃水最大備砲ノ口徑、前記各軍艦ノ竣工ノ日ノ後三十日內ニ左記情報ヲ掲クル統計表、竣工ノ日及右ノ日ニ於ケル當該艦船ニ關スル前記細目 (註) 本項ハ全會一致採擇
消極派提案	英提案 日、伊支持 庚、三月ノ滿了後六十日內ニ前記三月ノ期間內ニ製造ノ完了セラレタル器材ノ第四條ノ類別ノ各項別ニ依ル總價額ノ毎三月ノ統計表右統計表ハ第五類ノ第二、三、四項ニ付テハ國家ノ爲ニ製造セラレタルモノト其ノ他ノ目的ノ爲ニ製造セラレタルモノトヲ區別スヘシ
積極派提案	佛提案 米、白、西、致、蘇支持 庚、會計年度ノ滿了ヨリ起算シ一定ノ期間(未定)內ニ當該年度中ニ完了セラレタル第一、二、三類ニ屬スル器材ノ製造及購入ノ爲支出セラレタル國防費總額ノ各項別統計表

第三章 取引

第八條 (輸出入許可狀制度)

締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ政府ニ依リ發給セララルル輸出

又ハ輸入許可狀ナケレハ第四條第一乃至五類ノ器材ノ輸出及第四條第一乃至第三類ノ器材ノ輸入ヲ禁止スルコトヲ約ス	輸出許可狀ハ左記ヲ掲記スヘシ イ、發送ノ許可セラレタル第一乃至第五類ノ器材ノ指示、其ノ數、總重量及型(砲ノ口徑、戰車ノ噸數、航空機ノ特質等) ロ、輸出者ノ氏名及住所、原注文カ「ジュネーヴ」ニ通報セラレ且輸送國ニ於テ製造セラレタル器材ニ關スル場合ニハ右注文ヲ引照スルヲ要ス	英提案 日、伊、瑞西支持 「航空機ノ特質」ナル語ヲ「航空機ノ空重量」ナル語ニ代フ
ハ、輸入荷受人及住所、第一、二、三類ノ器材ニ付テハ輸入許可狀ヲ引照スルヲ要ス 輸入許可狀ハ左記ヲ掲記スヘシ イ、輸入ノ許可セラレタル第一乃至第三類ノ器材ノ指示、其ノ數、總重量及型(砲ノ口徑、戰車ノ噸數、航空機ノ特質等) ロ、輸入者ノ氏名及住所、注文ヲ引照スルヲ要ス ハ、輸出者ノ氏名及住所	英提案 日、伊、瑞西支持 「航空機ノ特質」ナル語ヲ「航空機ノ空重量」ナル語ニ代フ	英提案 日、伊、瑞西支持 ロ、輸入荷受人ノ氏名及住所

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
第九條（公表） 締約國ハ各自國ノ管轄權ノ關スル限	英提案 日、伊支持	蘇提案 締約國ハ許可狀發給國ヲ拘束スル協 定ニ依リ定メラルルコトアルヘキ量 的又ハ質的制限ヲ超過スル器材ニ付 輸入、輸出又ハ通過許可狀ヲ發給セ サルコトヲ約ス 瑞典提案 西、丁、瑞西支持 第八條ノ二（武器販賣周旋人ノ 取締） 締約國ハ第四條第……類ニ屬スル器 材ノ販賣周旋人ノ一切ノ業務ノ實施 ヲ政府ノ特別許可狀ノ下付ニ服セシ ムヘキ法律規定ヲ制定スルコトヲ約 ス 右許可狀ハ其ノ爲ニ右業務ノ實施セ ラルル企業ノ名稱ヲ掲記スヘシ 前記周旋人ニ發給セラレタル許可狀 ノ寫ハ毎年常設軍縮委員會ニ送付セ ラルヘク又同様ニ右委員會ハ許可狀 ノ一切ノ撤回ニ付通報ヲ受クヘシ

ニ於テ一切ノ輸入又ハ輸出許可狀ニ 掲ケラルル第一、二及三類ノ器材ノ 其ノ領域ヘノ輸入又ハ右領域ヨリノ 輸出ノ日ノ（十五日）前右許可狀ノ 寫並ニ一切ノ輸出許可狀ニ掲ケラル ル第四及五類ノ器材ノ其ノ領域ヨリ ノ輸出ノ日ノ（十五日）前右許可狀 ノ寫ヲ常設軍縮委員會ニ送付スヘシ	締約國ハ各自國ノ管轄權ノ關スル限 ニ於テ三月ノ満了後六十日以内ニ前 記三月ノ期間中ニ輸入及輸出セラレ タル器材ノ第四條ノ類別ノ各項別ニ 依ル總價額ノ毎三月ノ統計表ヲ常設 軍縮委員會ニ送付スヘシ右統計表ハ 生産國ト仕向國トヲ明示シ且第五類 ノ第二、三及四項ニ付テハ政府用ト シテ當該政府ニ對シ輸出セラレ又ハ 當該政府ニ依リ輸入セラレタルモノ ト私人用ノ爲輸出又ハ輸入セラレタ ルモノトヲ區別スヘシ	佛提案 米、西、丁、「ラトヴィア」、瑞 典、致、蘇支持 右十五日ノ豫告ヲ與フルコト不可能 ナリシ場合ニハ關係國政府ハ本條ニ 定メラルル期限ノ條件ヲ遵守スルヲ 得サリシ理由ヲ常設軍縮委員會ニ通 報スヘシ
締約國ハ又曆年中ニ爲サレタル一切 ノ輸入及輸出ノ統計表ヲ送付スヘシ 右統計表ハ當該年度ノ満了後一月内 ニ送付セラルヘシ 第十條（第一、二、三類ノ輸出） 締約國ハ第一、二、三類ノ器材ノ輸		

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
出カ輸入國政府又ハ右政府ノ同意ヲ 得テ之ニ服スル官憲ニ對スル直接供 給トシテ爲サルヘキコトヲ約ス (註) 本條ハ全會一致採擇 第十一條(第十條ノ例外) 尤モ左記ノ場合ニハ私人ニ對スル供 給ノ爲輸出ヲ許可スルコトヲ得 (一) 兵器製造者ニ對シ其ノ工業必要 品トシテ右製造者ニ依リ使用セラ ルル爲直接輸出セララル第一、二、 三類ノ器材但其ノ輸入カ輸入國政 府ニ依リ正當ニ許可セラレタルコ トヲ要ス (二) 個人ノ運動獎勵ノ爲組織セラレ 且自國政府ニヨリ施銃銃及騎銃並 ニ其ノ彈藥ヲ使用スルコトヲ正當 ニ許可セラレタル射擊協會ニ對ス ル供給トシテ輸出セララル施銃銃 及騎銃並ニ其ノ彈藥但右輸入ハ本 條約ノ他ノ規定ニ違反セサルコト ヲ要ス右兵器及彈藥ハ輸入國政府 ニ直接送付セラレ右政府ニ依リ其		

ノ供給ヲ受クル協會ニ交付セラル ヘシ (三) 見本用トシテ輸出製造者ノ代理 人ニ對シ直接輸出セララル第一、 二、三類ノ器材ノ見本但右代理人 ハ輸入國政府ニ依リ右見本ヲ受領 スルコトヲ正當ニ許可セララルコ トヲ要ス 第十二條(第四類ノ輸出) 締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内 ニ於テ第三章第八條ニ掲ケラルル輸 出許可狀ナクシテ第四條ノ第四類ノ 器材ヲ輸出セス又ハ輸出ヲ許可セサ ルコトヲ約ス 右器材ノ輸入ニ關シ輸入國ノ法制カ 自國政府ノ正當ナル委任ヲ受ケタル 代表者ノ查證ヲ必要トシ且右事實カ 當該國政府ニ依リ輸出國政府ニ通報 セラレタル場合ニハ輸出前ニ右查證 ヲ得且輸出國ノ當該官憲ニ提出スヘ シ (註) 本項ハ全會一致採擇 第十三條(第五類ノ輸出) 締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内		
--	--	--

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項		消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
ニ於テ第三章第八條ニ掲ケラルル輸 出許可狀ヲ輸出國政府ニ依リ發給セ ラルルニ非サレハ第四條ノ第五類ノ 器材ヲ輸出セス又ハ輸出ヲ許可セサ ルコトヲ約ス			
第十四條（軍艦ノ輸入） 締約國ハ毎三月ノ滿了後三十日內ニ 前記三月ノ期間內ニ取得シタル各軍 艦（各自國ノ管轄內ニ於テ自國ノ爲 建造セラレタル軍艦ヲ徐ク）ニ付統 計表ヲ送付スヘシ 右統計表ハ左記情報ヲ掲記スヘシ 一、取得ノ日 二、艦種及何國ヨリ取得セルヤ 三、英噸及「メートル」噸ニ依ル基 準排水量 四、主要寸法即チ水線全長、水線ニ 於ケル又ハ水線下ノ最大幅員 五、基準排水量ニ於ケル平均吃水 六、最大備砲ノ口徑			
第十五條（非締約國關係ノ輸出 入）			

締約國ハ非締約國ノ領域ヨリ來ル第 四條ニ掲ケラルル器材ノ輸入ニ對シ 締約國ノ領域ヨリ來ル輸入ニ對スル ヨリ有利ナル制度ヲ適用セサルコト 並ニ生産地ノ如何ヲ問ハス 右輸入及非締約國ニ對スル輸出ヲ同 一ノ許可及公表ノ條件ニ服セシムル コトヲ約ス	第十六條（輸出入許可狀制度ノ 例外） 左記ハ本條約ノ意義ニ於テ輸出又ハ 輸入ト認メラレサルヘシ イ、締約國ノ主權、管轄、保護若ハ 後見ノ下ニ在ル地域又ハ締約國カ 國際條約ニ基キ特殊ノ政治的若ハ 軍事の權利ヲ享有スル地域ヨリス ル所在地ノ如何ヲ問ハス該締約國 ノ軍隊ノ使用ニ充テラレタル第四 條第一乃至五類ニ屬スル器材ノ輸 送 ロ、第四條第一乃至第五類ノ器材ノ 關係締約國ニ依ルイ項ニ依リ右器 材ノ輸送セラレタル國ヨリノ移 送
---	---

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
ハ、イ項ニ掲ケラルル軍隊ニ屬スル者又ハ締約國ノ公務ニ從事スル者ニ依ル兵器又ハ彈藥ノ携帶但右器材カ其ノ職務ニ依リ又ハ自衛ノ爲必要ナル場合ニ限ル ニ、各當該國政府ニ依リ許可セラレタル射擊競技會ニ赴ク射擊協會員ニ依ル専ラ自己ノ使用ニ充當セララルル施銃銃、騎銃及必要ナル彈藥ノ携帶 ホ、商用航空機トシテ正當ニ登録セラレタル民用航空機ノ往來但右航空機カ一、商業運送、二、商業又ハ工業上ノ飛行、三、遊覽飛行ヲ爲ス場合ニ限ル ヘ、國際航空路ニ於ケル民用航空機職員ノ旅客又ハ航空機職員ノ防禦用ニ充當セララルル兵器又ハ彈藥ノ携帶		伊提案 第十六條ノ二(軍艦ノ處分方法ノ制限)

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ

各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシテ常設委員會又ハ其ノ監督機關ニ於テ注意ヲ喚起スルコトアルヘキ貨物ヲ検査セシムヘシ
各締約國ハ贈與、賣却又ハ如何ナル讓渡ノ形式ニ依ルヲ問ハス外國海軍ニ於テ軍艦ト爲スヲ得ルカ如キ方法ニ依リ其ノ軍艦ヲ處分セサルヘキコトヲ約ス	佛提案	第四條第一乃至第五類ニ屬スル器材ノ輸出輸入又ハ通過ニシテ本條約ノ規定ニ從ヒテ行ハレサルモノハ本條約ノ意義ニ於テ密輸ト認メラルヘシ	締約國ハ右密輸ヲ防止スルコトヲ其ノ義務ト認ム締約國ハ其ノ當該官憲ニ依リ發見セラレタル密輸事件ヲ常設委員會ニ通報スヘク且必要アルトキハ右官憲ヲシ

全會一致又ハ多数ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項 コトヲ得	消極派提案	積極派提案
締約國政府ハ國際聯盟事務總長ニ自 國代表者、代表代理者及專門家ノ氏 名ヲ其ノ任命及變更ニ際シ通報スヘ シ (註) 本條ハ全會一致採擇 第十八條(任務) 委員會ハ本條約ノ實施ノ注視ヲ任務 トス (註) 本條ハ全會一致採擇 第十九條(專門家ノ協力) 委員會ハ締約國カ自國代表者ニ隨伴 セシムルカ爲任命スル專門家ニ非ス シテ委員會自ラ選任スル專門家ノ協 力ヲ求ムルコトヲ得 委員會ニ依リ選任セラレタル專門家 ハ本條約第二十九條、第三十條及第 三十一條ニ規定セララルル調査小委員 會ニ勤務スルコトヲ得ス 第二十條(委員會職員ノ特權) 委員會ノ委員、其ノ代理者及專門家 並ニ委員會ノ專門家及吏員ハ其ノ職 務ノ執行ニ際シ外交官ノ特權及不可		

侵權ヲ享有ス

(註) 本條ハ全會一致採擇

第二十一條(委員會ノ書記局)

委員會書記局ハ國際聯盟事務總長ノ
手ニ依リ構成セラル

(註) 本條ハ全會一致採擇

第二十二條(小委員會)

委員會ハ其ノ委員ヨリ成ル小委員會
ヲ設ケ且其ノ數、構成及權限ヲ決定
スヘシ

(註) 本項ハ全會一致採擇

特ニ委員會ハ地域的小委員會ヲ設ケ
之ニ其ノ管轄内ノ各地域の團體ニ屬
スル各國ニ依ル本條約ノ實施ヲ委員
會ノ權限ノ下ニ恒久的ニ注視スルノ
任務ヲ委託スヘシ

右地域の團體ノ構成ハ何時ニテモ委
員會ニヨリ變更セラルルコトヲ得右
構成ハ外交關係ヲ結ヒ居ラサル列強
ヲ同一團體ニ包含セサル様決定セラ
ルヘシ

地域的團體ニ屬スル各國ハ完全ナル
平等ノ下ニ代表セラルヘシ尙小委員
會ハ少クトモ同數ノ地域外國家ノ代
表者ヲ包含スヘシ

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第二十三條（情報ノ蒐集、調整、 審査） 委員會ハ締約國カ本條約ニ依ル義務 ニ從ヒ供給スル情報ヲ受領、調整、 審査スヘシ （註）本條ハ全會一致採擇 第二十四條（補足的情報ノ要 求） 本條約ニ依リ負擔セラルル義務ノ範 圍内ニ於テ委員會ハ本條約ニ依リ供 給セラレタル情報ニ關シ締約國ニ對 シ補足的ノ細目又ハ説明ヲ書面又ハ 口頭ヲ以テ提出スルコトヲ要求スル ヲ得 右要求ハ委員會ニ於ケル締約國ノ代 表者ヲ通シテ爲サルヘシ締約國ハ右 要求ニ應シ且委員會ニ於ケル自國代 表者ヲ通シ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ 希望セラルル情報ヲ供給スルコトヲ 約ス但右情報カ第三十三條第二項ニ 規定セラルル免除ノ範圍ニ屬スル場 合ハ此ノ限ニ在ラス		

（註）本條ハ第二項末尾ヲ除キ全會一致採擇 第二十五條（其ノ他ノ情報） 委員會ハ責任アル方面ヨリ自己ノ接 受セルモノニシテ且注意ニ値スト認 ムル他ノ一切ノ報道ヲ考量スルコト ヲ得 何レノ場合ニ於テモ委員會ハ委員會 ノ委員ニ依リ供給セラルル一切ノ情 報ヲ審査スヘシ （註）本項ハ全會一致採擇 委員會ハ自發的ニ出頭スル證人ヲ聽 取スル權利ヲ有スヘシ右證人ノ證言 ニ付テハ完全ナル記録ヲ保存スヘシ 第二十六條（質問又ハ意見ノ聽 取） 委員會ハ委員會ノ審議スル問題ヲ明 ニシ得ル者ニ付質問又ハ意見ノ聽取 ヲ爲スコトヲ得 第二十七條（證人ノ訊問様式） 締約國ノ國民ハ常設軍縮委員會ニ於 ケル該國代表者カ豫メ正當ニ訊問ノ 通報ヲ受ケ且之ニ立會フノ機會ヲ與 ヘラルルニ非サレハ第二十五條又ハ 第二十六條ニ依リ訊問セラルルヲ得 ス		
---	--	--

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第二十八條(統計資料ノ公表) 委員會ハ第七條及第九條ノ規定ニ依リ供給セララルル情報ノ毎三月ノ統計表並ニ右情報ノ審査ノ結果ニシテ適當ニ調整セラレ且第一乃至五類ノ器材ノ製造輸出及輸入ニ關スル事態ヲ明示スルモノヲ發表スヘシ (註) 本條ハ全會一致採擇	英提案 日、伊、波支持 第二十九條乃至第三十三條ヲ削除シ左ノ一條ヲ設ク 常設軍縮委員會カ本條約ノ違反アリ	佛、致提案 尤モ證人カ其ノ所屬國代表者ノ面前ニ出頭スルコトヲ拒絕スル場合ニハ右證人ノ證言ハ國際書記局トシテ行動スル國際聯盟事務局ニ依リ聴取セラレ且同事務局ヨリ常設委員會ニ通報セララルヘク常設委員會ハ證人所屬國代表者ノ立會ノ下ニノミ之ヲ審議スルコトヲ得

シ行使セララルル國家監督ノ組織セラレ運用セララルル條件並ニ該締約國ニ依リ供給セララルル情報ノ正確性ニ付實地調査ヲ爲スヘシ	又ハ締約國ニ依リ本條約ニ從ヒ委員會ニ供給セラレタル情報カ不完全若ハ不正確ナリト信スル理由アル場合ニハ委員會ハ關係締約國ニ對シ事實ヲ明白ナラシムル爲ニ必要ナル説明ヲ供給センコトヲ要求スヘシ 締約國ハ常設軍縮委員會ノ希望ニ從ヒ責任アル官吏ニ依リ口頭ヲ以テ又ハ書面ニ依リ右説明ヲ供給スルコトヲ約ス 委員會ハ成ルヘク速ニ其ノ右措置ヲ執リタル理由及當該事件ノ審査ノ結果ヲ記載スル報告書ヲ作成スヘシ	致提案 米、丁、西、佛、「ラトヴィア」、 諾、瑞典支持 第一項末尾ニ左ノ句ヲ加フ且此等ノ事項ニ付得ラレタル經驗ニ依リ且右經驗ニ從ヒ本條約ノ規定ノ實施ニ付締約國ヲ援助スルカ如キ一般の情報及提案ヲ其ノ報告書ニ記載スヘシ
尤モ事情ニ依リ委員會ハ右規則ノ適用ヲ一時的ニ中止スルコトヲ決定スルヲ得但右決定ヲ爲スニ必要ナル多數ニハ右決定ノ適用アル國ノ隣接國ヲ代表スル委員ノ全部ヲ包含スルコ		

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
トヲ要ス 右實地調査ハ第二十二條ニ規定セラ ル地域の小委員會ニ依リ實施セラ ルヘシ		佛提案 各地域の小委員會ハ右小委員會ノ管 轄ノ及フ各國ノ領域内ニ常駐スヘキ 代表者ヲ任命スヘシ 右代表者ハ小委員會ノ爲ニ且地方官 憲ト協力シテ何時ニテモ地域の小委 員會ニ課セラレタル調査義務ノ遂行 ニ必要ナル連絡行爲及實地調査ヲ施 行スルニ必要ナル活動手段ヲ之ニ與 フヘキ條件ノ下ニ地方官憲ニ對シ派 遣セラルヘシ

ヲ認定シ直ニ之ヲ委員會又ハ書記局 ニ通報スヘシ		佛提案
小委員會ハ委員會又ハ委員會書記局 ニ依リ與ヘラレタル一般の指令ニ從 ヒ各調査ノ計畫ヲ作成スヘシ 小委員會カ調査中ニ前記調査計畫ト ハ無關係ナルモ委員會ノ注意ヲ惹起 スルニ足ルト認ムル或種事實ノ通報 ヲ受クル場合ニハ小委員會ハ右事實		他方被調査國ハ調査中小委員會ニ隨 伴スヘキ一名又ハ數名ノ參與員ヲ任 命スヘシ右參與員ハ常ニ小委員會ノ 用ニ應ジ且其ノ任務ノ達成ヲ容易ナ ラシムヘシ小委員會ハ參與員ニ調査 ニ列席スルノ權利ヲ拒ムコトヲ得ス

小委員會ハ事實ノ認定以外ノ任務ヲ
有セサルヘシ

殊ニ小委員會ハ地方ノ文治又ハ軍事
官憲ニ對シ命令又ハ意見ヲ與フルコ
トヲ得ス右官憲ノ援助ヲ必要トスル
トキハ參與員ノ仲介ニ依リ要求セラ
ルヘシ參與員ハ右目的ノ爲必要ナル
一切ノ權限ヲ與フル訓令書ヲ携帯ス
ヘシ

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第三十條 (要求ニ基ク實施調 査) 締約國ハ本條約ニ基ク自國ノ義務ノ 履行ヲ審查スル爲必要ナルコトアル ヘキ調査ヲ自國領域内ニ於テ行ハン コトヲ委員會ニ要求スルコトヲ得 右要求ヲ接受セルトキハ委員會ハ直 ニ會合シ右要求ニ應ジ右調査ノ範圍 ヲ決定シ且調査實行ノ體様ヲ定ムヘ シ 其ノ間委員會ノ審議ノ結果カ満足ト 認メラルル場合ニハ委員會ハ關係締 約國ノ同意ヲ得テ右調査ヲ行ハサル コトヲ決定スルヲ得ルモノトス 第三十一條 (條約違反ノ申立) 一 締約國カ本條約ノ規定カ違反セラ レタリト認ムルトキニハ右締約國ハ 委員會ニ對シ申立ヲ爲スコトヲ得 委員會ハ右事項ヲ審議スル爲直ニ會 合シ締約國ニシテ其ノ義務履行ノ態 度カ申立ノ原因トナリタルモノニ對 シ有用ナル一切ノ説明ノ提出ヲ要求		

スヘシ

委員會カ右申立ハ特別調査ヲ正當ナ
ラシムル性質ノモノナリト決定スル
場合ニハ委員會ノ當該締約國ノ領域
ニ於ケル調査施行ノ決定ハ右會合ニ
出席セル一切ノ委員會ノ委員ノ三分
ノ二ノ多數ニ依リ行ハルヘシ

本條ニ規定セラルル特別調査ハ之カ
爲設置セラルル特別小委員會ニ依リ
實施セラルヘシ右特別調査團ハ關係
國ノ屬スル地域の團體以外ノ地域の
團體ニ屬スル國ノ委員ニ依リ多數ヲ
構成セラルヘシ

申立ヲ爲ス國及特別調査ヲ受クル國
ハ委員ニ依リ特別小委員會ニ代表セ
ラレサルヘク調査中小委員會ニ隨伴
スヘキ一名又ハ數名ノ參與員ヲ任命
スヘシ

波提案

「ラトヴィア」支持

(註) 本條ハ英提案第二十九條ニ續
クヘキモノトス

一 締約國カ何時ニテモ他ノ締約國ノ
領域内ニ於ケル兵器、彈藥若ハ器材
ノ製造又ハ右領域ニ對スル兵器、彈

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
第三十二條（調查報告） 第二十九條、第三十條及第三十一條 ニ依リ決定セラレタル調査ノ結果ハ 各場合ニ付委員會ニ依リ特別報告書 ニ記載セラルヘシ右報告書ハ締約國 ニ對スル勸告ヲ包含スルコトヲ得ヘ シ 第三十三條（調査方法） 一、委員會又ハ其ノ小委員會カ常駐 地以外ノ地ニ於テ調査ヲ實施スル ニ當リテハ右調査ハ左ノ方法ニ限		藥若ハ器材ノ輸入カ豫期セラレサル 重要且異常ナル増加ヲ示シタリト認 メ且右締約國カ右事態ニ平和ニ對ス ル脅威ノ兆ヲ認ムルトキニハ右締約 國ハ右事項ニ付常設軍縮委員會ニ申 立ヲ爲スコトヲ得 委員會ハ直ニ右事項ヲ審査シ關係締 約國ニ對シ一切ノ有用ナル説明ヲ提 出センコトヲ要求スヘシ委員會ハ其 ノ審査ノ結果ニ付理由ヲ附シタル報 告書ヲ作成シ之ヲ一切ノ締約國ニ送 付スヘシ

定セラルヘシ イ、締約國ニ依リ指定セラタル右 締約國ノ責任アル官吏又ハ被使 用人ニシテ本條約ノ實施ノ細目 ヲ委任セラレタルモノノ宣誓附 供述 ロ、一切ノ適當ナル書類及特ニ前 記イ項ノ官吏ノ權限及監督ノ下 ニ作成セラレタル書類ノ審査 ハ、イ項ニ規定セララル官吏以外 ノ者ニシテ調査ノ時ニ締約國ノ 領域内ニ在ルモノノ宣誓附供述 締約國ハ其ノ有スル一切ノ方法 ニ依リ此等ノ者ノ出頭ヲ容易ナ ラシムルコトヲ約ス ニ、イ、ロ、ハ項ニ規定セララル 供述及審査ハ參與員ノ立會ノ下 ニ爲サルヘシ ホ、締約國ニ對スル本條約ノ義務 ノ實施ヲ現地ニ於テ審査スル爲 施行セララル國營工場又ハ民 營工場ニ於テ生産セララル第一 乃至五類ニ屬スル器材ノ調査右 調査ハ被調査締約國ニ依リ任命		佛提案 致支持 ホ、製造中又ハ製造完了ノ第一乃 至五類ノ器材ノ實地調査、右調 査ハ被調査締約國ニ依リ任命セ ラレタル參與員ノ立會ノ下ニ爲 サルヘシ
--	--	---

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
セラレタル參與員ノ立會ノ下ニ爲サルヘシ ヘ、審査及調査ノ結果ニ付テハ完全ナル記錄ヲ作成シ關係國ノ當該官憲ニ送付セラレヘク右關係國ハ其ノ意見ヲ提出スルコトヲ要求セラレヘシ右記錄ハ證人ノ供述ト共ニ證據書類トシテ報告書ニ添付セラレヘシ 二、本條約ニ規定セラレル調査ノ實施ニ當リテハ左記事項ノ何レカ又ハ全部ニ關スル情報ハ常設委員會又ハ其ノ小委員會ニ對スル通報又ハ之ニ依ル調査ノ義務ヲ免除セラレヘシ イ、考案、材料ノ物理的及化學的構成、製造方法並ニ此等ニ關スル一切ノ事項ニ關スル技術的細目ニシテ製造上ノ祕密又ハ國防上ノ祕密ヲ構成スルモノ ロ、生産費ニ關スル情報ヲ包含スル公及（若ハ）私ノ記錄、損益		

勘定、信用ノ便宜、工場ノ内部的財政、現ニ締結セラレ若ハ同意セラレタル注文ヲ除外シ、將來顧客ト爲ル見込アル者トノ通信、製造設備ノ將來ノ變更若ハ擴張ニ關スル研究及計畫又ハ生産若ハ生産過程若ハ第一乃至五類ノ器材ニ關スル會計以外ノ會計ニ屬スル他ノ通信、記錄若ハ勘定 ハ、材料、裝置、工作、製造方法及第一乃至五類ノ器材ノ格納、倉入又ハ輸送ニ充當セラレルモノ以外ノ一切ノ工場建設 ニ、被調査、締約國ノ軍隊ニ交付セラレ又ハ貯藏兵器ニ組入セラレタル後ニ於ケル第一乃至五類ノ器材 第三十四條（委員ノ意見） 各委員會委員ハ委員ノ一切ノ報告書中ニ自己ノ提出セル意見又ハ提案ヲ記載セラレ及必要アラハ別個ノ報告書ヲ作成スヘキコトヲ要求スルコトヲ得		佛提案 致支持 ハ、第一乃至第五類ノ器材ノ格納倉入又ハ輸送ニ充當セラレルモノ以外ノ一切ノ建築物
---	--	---

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消極派提案	積極派提案
(註) 本條ハ全會一致採擇 第三十五條(委員會ノ報告書) 委員會ノ一切ノ報告書ハ直ニ締約國 及國際聯盟理事會ニ送付セラレヘシ (註) 本條ハ全會一致採擇 第三十六條 削除 第三十七條(理事會ニ對スル情 報供給) 委員會ハ其ノ權限ノ範圍内ニ於テ國 際聯盟理事會ニ依リ請求セラルルコ トアルヘキ情報及意見ヲ理事會ニ提 出スヘシ (註) 本條ハ全會一致採擇 第三十八條(委員會ノ會合) 委員會ハ最初國際聯盟事務總長ノ招 集ニ依リ本條約實施後三月内ニ會合 シ假議長及副議長ヲ選任シ且議事規 則ヲ起草スヘシ 其後委員會ハ少クトモ毎年一回其ノ		英提案 伊、波支持 常設軍縮委員會ハ本條約ニ依リ課セ ラレタル義務ノ外今後國際協定ニ依 リ委任セララルコトアルヘキ他ノ義 務ヲ負擔スヘシ

議事規則ニ定メラレタル日ニ通常會 合ヲ開クヘシ 委員會ハ又左ノ場合ニ臨時會合ヲ開 クヘシ 一、本條約ノ豫見セル場合 二、委員會幹部會カ其ノ發意ニ依リ 又ハ一締約國ノ請求ニ依リ開催ヲ 決定スル場合 三、國際聯盟理事會ノ請求アル場合 (註) 前三項ハ全會一致採擇 委員會ノ通常會合ト臨時會合トノ間 ノ期間中委員會幹部會ハ委員會ノ權 限ノ委任ニ依リ且右委任セラレタル 權限ノ範圍内ニ於テ地域的小委員會 ノ一般的活動ヲ常ニ指揮スヘシ 第三十九條(表決方法) 本條約ニ別段ノ規定アル場合ヲ除キ 委員會ノ決定ハ出席セル委員ノ過半 數ニ依リ之ヲ行フ棄權ハ缺席ト看做 サルモノトス 委員會ノ議事規則ノ採擇又ハ修正ニ 付テハ少クトモ締約國ノ半數カ會合 ニ出席セル場合ニ非サレハ表決スル コトヲ得ス		
---	--	--

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
議事規則及其ノ修正ノ採擇ニ付テハ 出席セル委員ノ三分ノ二ノ多數ヲ必 要トスヘシ 委員會ハ議事規則ノ修正カ會合招集 狀ニ殊ニ記載セラレタル場合ニノミ 右修正ニ付表決スルコトヲ得 (註) 本條ハ全會一致採擇 第四十條 (委員會ノ經費) 委員會ノ一般經費ハ國際聯盟豫算ノ 特別ノ一章ニ計上セラルヘシ聯盟國 タラサル締約國ハ右經費ノ適當ナル 部分ヲ負擔スヘシ右締約國ト委員會 書記長ハ之カ爲協定ヲ行フヘシ 委員會委員、其代理者及專門家ノ旅 費及滞在手當ハ其ノ所屬國政府ニヨ リ負擔セラルヘシ 委員會ハ其ノ運用スル必要ナル經費 ニ關スル規則ヲ制定スヘシ (註) 本條ハ全會一致採擇 第五章 一般條項 A 條 (條約ノ停止) 戰時ニ於テハ中立規則ヲ害スルコト		

ナクシテ本條約ノ……條ノ規定ハ交
戰國ノ爲ニスル又ハ交戰國ニ對スル
第一乃至五類ノ器材ノ製造又ハ輸送
ニ關スル限リ平和克復迄實施ヲ停止
セラルヘシ

B 條 (中立)

締約國カ其ノ國際約束ニ從ヒ中立ト
シテ存スルヲ得ル限度ニ於テ右締約
國ハ第一乃至五類ノ器材ノ交戰國ニ
對スル輸出又ハ通過ヲ禁止スルノ義
務ナキコト茲ニ宣言セラル

伊提案 (他國ノ爲ニ建造中ノ軍
艦ノ使用禁止)

締約國ハ戰爭ニ從事スル場合ニ於テ
ハ其ノ管轄内ニ於テ他國ノ爲ニ建造
中ノ軍艦又ハ其ノ管轄内ニ於テ他國
ノ爲ニ建造シタルモ引渡ヲ了セサル
軍艦ヲ軍艦トシテ使用スルコトヲ得
ス

佛提案

西、蘇支持

B 條ノ二

一、締約國ハ必要ナル場合ニハ攻撃
國ト認メラレタル國ニ對スル第一

全會一致又ハ多數ヲ以テ委員 會ニ依リ採擇セラレタル條項	消 極 派 提 案	積 極 派 提 案
C 條 (除外例) 本條約ノ期間中ニ締約國ノ意見ニ依 レハ其ノ國家ノ安全ニ對スル脅威ヲ 構成スル事情ノ變化發生スル場合ニ ハ右締約國ハ……條ノ規定ノ適用ヲ 一時停止スルヲ得 右停止ハ締約國ノ要求アルトキハ他 國ノ領域内ニ於テ右締約國ノ爲ニ爲 サル製造及右締約國ヲ目的トスル 輸出ニ義務的ニ及フモノトス 各停止ハ左記條件ニ服スヘシ イ、締約國ハ速ニ右一時の停止ヲ他 ノ締約國及之ト同時ニ國際聯盟事		乃至五類ノ器材ノ輸出及通過輸送 ヲ禁止スルニ必要ナル手段ヲ執ル コトヲ約ス 二、尙締約國ハ各自國ノ管轄ノ範圍 内ニ於テ何レカノ國ニ於ケル第一 乃至五類ノ器材ノ製造又ハ輸入ノ 不當ナル發達ノ結果常設委員會カ 本條約ノ適用維持ノ爲勸告スルコ トアルヘキ禁輸措置ヲ有效ナラシ ムルニ努ムヘシ

務總長ヲ通シ常設軍縮委員會ニ通 告スヘシ ロ、右通告ト同時ニ締約國ハ前記ノ 事情ノ變化ニ關スル充分ナル説明 ヲ他ノ締約國及之ト同時ニ國際聯 盟事務總長ヲ通シ常設軍縮委員會 ニ通告スヘシ 常設軍縮委員會ハ直ニ會合シ委員 會委員ハ右事態ニ付協議スヘシ 右一時の停止ニ關スル事由カ存在 セサルニ至リタルトキハ當該締約 國ハ本條約ノ規定ノ遵守ヲ再開シ 其ノ旨ヲ他ノ締約國及國際聯盟事 務總長ヲ通シ常設軍縮委員會ニ通 告スヘシ D 條 (通商條約) 締約國ハ一締約國ニ依ル第一乃至五 類ノ器材ノ輸出許可狀ノ發給又ハ通 過ノ許可ノ拒絕カ商品ノ輸出又ハ通 過ニ對スル制限ノ設定ヲ禁止スル締 約國間現存條約ノ規定ノ違反ヲ構成 スルモノト認メラレサルヘキコトヲ 約ス		
--	--	--

第三章 條約案ニ對スル各國ノ態度

一、今次委員會ニ於ケル各國代表部ノ態度ヲ條約案ノ各條項ニ付點檢スルニ左ノ如シ

○前 文

二、各國代表何レモ前文ノ必要ヲ認メタルモ其ノ案文ハ條約文ノ作成後考究シテ可ナルヘシトノ意見ヲ表明シタリ英代表ハ米提案 (Conf. D. 167) 第二條ノ原則の規定 (註) ハ條文トシテ條約本文中ニ規定スルコトナクシテ前文ニ移スヲ可トストテ前文「テクスト」(C.C.F. 153) ヲ提案シ本邦代表部及伊、波代表之ヲ支持シタリ

(註) 米提案第二條左ノ如シ

「兵器及軍用器材ノ製造及取引ハ國際公序ニ屬スル事項ナルヲ以テ締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ右事項ニ付行使セラルヘキ監督ノ全責任ヲ負擔ス」

○第 一 章

第 一 條

三、本條ハ法律家委員會ノ作成セルモノニシテ米提案第二條ニ該當スルモノナリ米、佛代表ハ同條ノ意義ヲ徹底セシムル爲「締約國ハ兵器及軍用器材ノ製造及取引カ國際公序ニ屬スル事項ナルヲ承認ス仍テ締約國ハ本條約ノ規定ニ從ヒ後ニ規定セラルル公表書類ノ通報ヲ確保シ且右書類ノ正確性ヲ保證スル目的ヲ以テ前記活動ニ對シ行使セラルヘキ國家監督ノ責任ヲ負擔スルコトヲ宣言ス」ナル案文ヲ採用センコトヲ法律家委員會ニ提議セルカ英、伊代表ノ反對アリ結局同條約案所載ノ如キ案文ニテ妥結ヲ見タルモノナリ

第 三 條

四、報告者「コマルニツキ」ハ本條ノ削除方ヲ提議シタルカ丁、波、瑞典及瑞西代表之ヲ支持シタリ

第 四 條

五、本條所定ノ武器類別ハ類別專門分科會ノ提出セルモノヲ其ノ儘採擇セルモノナリ右類別ハ實際上英、米、佛、伊、蘇五國専門家ノ手ニ於テ作成セラレタルモノニシテ右五國専門家カ類別專門分科會ヲシテ同案ハ五國専門家間ノ困難ナル審議ノ結果辛シテ得ラレタル妥協案ナルコトヲ理由トシ殆ト他國専門家ノ修正意見ヲ封シテ採擇セシメタルモノナリ

六、類別專門分科會ハ本條所定ノ武器類別ヲ採擇スルニ際シ同類別ハ全然技術の見地ヨリセル解決案ニシテ專門分科會委員ノ同案受諾ハ各自國政府ノ承認ヲ條件トシテ爲サルモノナルコトヲ明白ニシタリ

七、専ラ化學戰及燒夷戰ニ使用セラルル器具及物質ヲ第一類ニ列舉セントスル蘇提案ハ專門分科會ノ採擇スルコトコトナラサリシ處蘇代表ハ化學戰禁止ニ關スル千九百二十五年六月十七日ノ議定書ノ今尙未實施ナルコト及近年化學的戰闘手段ノ發達ノ顯著ナルコトニ對シ專門分科會ノ注意ヲ喚起スルト共ニ武器製造取引委員會又ハ一般委員會ニ於テ本問題ヲ再起スルノ權利ヲ留保スル旨ヲ聲明シ波及致代表之ヲ支持シタリ

右ニ對シ專門分科會ノ多數ハ蘇提案ニ反對シ化學戰分科會カ本問題ヲ慎重研究セル結果技術的ニ見テ本件器具及物質ノ「リスト」ヲ作成スルコト不可能ナリトノ結論 (Conf. D. 152) ニ到達シタルコトヲ指摘シタリ

火藥及爆藥ハ第一類ノ第一、二、三號ニ列舉セラルル兵器ニ關スル限度ニ於テ第一類第四號ニ規定セラルル處此ノ點ニ關シ蘇代表ハ火藥、爆藥及其ノ原料カ或ル場合ニハ直接軍事上ノ要求ニ關係アルコトヲ指摘シ第四類ニ「第一類第四號ニ掲ケラルルモノ以外ノ火藥及爆藥並ニ其ノ製造原料」ヲ加ヘンコトヲ提案シタリ

八、本邦代表部ハ目下壽府ニ軍事専門家ヲ有セサルカ故ニ類別問題ニ關シ全面的ニ態度ヲ留保スル旨ヲ聲明シタリ

九、佛代表ハ各類別ノ取扱方法カ決定セラレ且本件武器類別ト國防費公表條約案ノ國防費表ニ掲ケラルル武器トノ對應問題ニ關シ國防費專門分科會ノ提出セル意見カ討議セラルル迄本件武器類別案ハ確定的ノモノト看做スヲ得ス仍テ佛代表部ハ將來ノ討議ニ於テ或種規定ノ變更ヲ見ル場合其ノ行動ノ自由ヲ留保スル旨ヲ聲明シタリ

一〇、瑞典及瑞西代表ハ「化學戰及燒夷戰ニ使用セラルル器具及物質」ノ定義ノ確立ヲ見ル迄本問題ニ對スル態度ヲ留保スルト同時ニ既ニ國際條約ニ依リ禁止セラルル化學戰及燒夷戰ヲ目的トスル兵器ノ製造及取引ヲ本條約ニ於テ許可スルハ矛盾ナルヘシトノ意見ヲ表明セリ

一一、致代表ハ第三類ニ戰闘用航空機ノ主要部分品ヲ列擧セサルノ不當ナルヲ指摘シテ第三類ノ案文ニ反對シタリ

〇 第二章

第五條

一二、佛代表ハ第四條ノ第三類(戰闘用航空機)ト第五類(非戰闘用航空機)ノ改訂ヲ見サル限り又軍用航空機ノ必須部分品カ第五類ニ包含セラルル限り佛代表部ハ第三類ノ航空機ニ付テモ第五類第二、三、四項ニ該當スル器材ヲ列擧スルコトヲ條件トシテノミ第五條ノ案文ヲ受諾シ得ルモノナルコトヲ聲明シタリ

一三、波代表ハ第五條、第六條、第七條ノ全般ニ關シ第五類ノ器材ノ製造力第一乃至三類ノ器材ト同一ノ公表制度(注文ノ公表ヲ除ク)ニ服セシメラルヘキモノト思考スル旨ヲ聲明シタリ

一四、本邦代表部及伊代表ハ國營工場ニ對スル製造許可制度ノ適用ニ反對シタリ

一五、本邦代表部及英、伊代表ハ注文ノ公表主義ニ反對ヲ聲明シ從テ第五條第二項ニ反對シタリ

一六、委員會ハ第五條第二項ハ原型(「プロトタイプ」)、模型(「モデル」)又ハ實驗材料(「エクスペリメンタル、マテリアル」)ノ製造ニ適用ナシトノ見解ニ一致シタリ

第六條

一七、蘇代表ハ製造許可狀ノ有効期間(五年)ヲ二年トセンコトヲ提案セリ

一八、本邦代表部及英、伊代表ハ注文ノ公表主義ニ反對ナルカ故ニ第六條末項ヲ受諾シ得サルコトヲ明ニシタリ

一九、蘇提案ニ關シ西代表ハ之ニ賛成ナルモ武器製造取引條約ノ目的ニ鑑ミ之ヲ同條約ニ規定スルコトハ困難ナルヘシト

述ヘ佛代表ハ蘇提案ニ主義上賛成シタリ

第七條

二〇、本邦代表部ハ第七條ニ關シテハ乙項(製造許可狀ノ公表)及己項(軍艦建造ノ公表)以外ノ諸項全部ニ付態度ヲ留保シタリ

二一、致代表ハ第七條ノ原則及案文ニ賛成セルモ或種事項ニ付右案文ヲ補充スルノ點ニ關シ態度ヲ留保シタリ

二二、蘇代表ハ第五條及第七條ノ他項(乙乃至庚)(佛提案ノ追加條項ヲ加フ)カ米佛案文ノ儘採擇セラルルコトヲ條件トシテ第七條甲項ヲ受諾シ且第二讀會ニ於テ國營及民營工場ノ製造能力ノ監督問題(蘇提案 C.C.F./55 參照)ヲ再提起スルノ權利ヲ留保シタリ

二三、波代表ハ第七條甲項ニ規定セラルル國營工場ノ第一回ノ表ニハ條約實施ノ際既ニ有效ナル總テノ製造許可ノ寫ヲ包含スヘキモノト解釋スル旨ヲ述ヘタリ

二四、本邦代表部及英、伊代表ハ第七條丙項一ノイ(製造購入計畫ノ公表)ニ反對シタリ

英代表ハ第七條丙項一ノロ(國防費豫算ノ公表)ヲ受諾セルカ伊代表ハ第二讀會迄此ノ點ニ關スル態度ヲ留保シタリ本邦代表部カ此ノ點ニ付態度ヲ留保セルコト前述(二〇)ノ如シ

瑞西、波、瑞典代表ハ前記製造購入計畫ノ公表制度(第七條丙項一ノイ)ニ對シ主義上反對ナラサレトモ本制度ニハ主要諸國ヨリ反對アルニ鑑ミ又假令「モデスト」ノモノナリトモ實現可能ナル條約案ヲ作成スルコト賢明ナリト思考スルカ故ニ妥協的精神ヨリ實際上ノ理由ニ依リ此ノ點ニ關シ其ノ態度ヲ留保スルモノナルコトヲ聲明シタリ

二五、佛代表ハ第七條丙項一ノハ(土提案ノ追加條項)ニ主義上賛成ノ意見ヲ表スルト共ニ本件追加條項ハ第五條第二項(民營工場ニ於ケル注文外ノ製造ノ禁止)ト結合スル方可ナルヘシト述ヘタリ

二六、佛提案ノ第七條丙項二(製造開始ノ豫告)ニ關シ佛代表ハ右ハ特ニ重要ナル少數ノ限定セラレタル器材ニノミ適用

セントスル意嚮ナリト説明シタリ

二七、本邦代表部及英、伊代表ハ第七條丁項（注文ノ公表）ニ反對シタリ

白、瑞典、致、瑞西代表ハ不正競争ノ防止措置ニ付協定スヘキコトヲ留保シテ第七條丁項ヲ受諾シタリ

佛代表ハ注文ノ公表ハ第五類ニモ適用アルカ故ニ第七條丁項ロニ規定セラルル情報ハ第五類ノ器材ニ關シ注文ヲ發シタル個人又ハ會社ノ氏名及住所ヲ包含セシムヘシト主張シタリ

二八、本邦代表部及英、伊代表ハ第七條戊項（製造年統計ノ公表）ニ反對シタリ

二九、致代表ハ第七條末尾ニ「注文ニ關シテ本條ニ列舉セラレ且常設軍縮委員會ニ送付セラルル一切ノ書類ハ嚴ニ祕密ノモノト認メラレ且關係締約國ノ許可ヲ得ルニ非サレハ公表スルヲ得ス」トノ一項ヲ加ヘンコトヲ主張シタリ

○第三章

三〇、波代表ハ千九百二十一年四月二十一日及千九百三十三年四月十四日ノ獨波協定ニ基ク武器ノ輸送並ニ波蘭關稅地域内ニ於テ波蘭ノ行フ武器ノ輸送ニ對スル第三章ノ適用除外ヲ明定スル一條ヲ同章ニ挿入スルコトヲ條件トシテ第三章ノ規定ヲ受諾スルモノナルコトヲ聲明シタリ

第八章

三一、佛代表ハ輸出入許可狀ニ輸出武器ノ豫定經路及通過國ノ表示ヲ要求センコトヲ提案シタルヤ(CCF/79 參照)通過問題カ今次會合ニ於テ討議留保トナリタルヲ以テ右提案ヲ撤回シタルコトヲ指摘スルト共ニ佛代表部ノ意見ニ依レハ第四條ノ器材ノ輸送經路ハ兎モ角トシ尠クモ締約國領域内ニ於ケル出發地點ト入國地點トヲ適時ニ常設委員會ニ通報セシムルコト絕對ニ必要ト思考スル旨ヲ述ヘタリ

三二、蘇、佛代表ハ通過ニ關スル條項ノ挿入ヲ留保シテ第八條案文ヲ受諾シタリ

三三、本邦代表部及英、伊代表ハ輸出許可狀及輸入許可狀ノ記載事項イニ關スル案文ヲ受諾スルモ右受諾ハ第九條（公表）

ニ關スル英提案（日、伊支持）ト關聯スルモノナルコトヲ聲明シタリ

又英代表ハ輸出許可狀ハ常設軍縮委員會ニ對シ通報セラレサルモノナリトノ了解ノ下ニ前記第八條イ項ノ案文ヲ受諾スルモノナルコトヲ聲明シ本邦代表部及伊代表之ニ加擔シタリ

三四、波代表ハ武器生産國ト非生産國トノ均等待遇ノ原則上製造ニ關スル公表事項及通報期間ト取引ニ關スル公表事項及通報期間トハ嚴格ニ同一タルヘキモノト思考スルカ故ニ第八條及第九條ノ規定ニシテ第七條ノ規定ト同一タラサルモノハ受諾スルヲ得ス何レニシテモ價額ニ依ル公表ノミニテハ不充分ナリトノ意見ヲ述ヘ「アフガニスタン」代表之ニ加擔シタリ

三五、土、「アフガニスタン」、「イラン」代表ハ第七條ノ確定ヲ見ル迄第八條及第九條ニ關シ態度ヲ留保シタリ

三六、土代表ハ第八條第一項ヲ「締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ政府ニ依リ發給セラルル輸入許可狀ナケレハ第四條第一乃至第五類ノ器材ノ輸出ヲ禁止スルコトヲ約ス」ト規定スヘシト主張シタリ

三七、佛、西、支代表ハ第八條ニ對スル蘇提案ノ追加條項ニ主義上賛成シタリ

第九章

三八、致代表ハ委員會採擇ノ第九條案文ニ對スル其ノ最終的態度ハ第七條及第九條ニ對スル左記同國修正案ニ關シ委員會ノ執ルヘキ決定如何ニ懸ルモノナルコトヲ留保シタリ

(一) 第七條丙項ハ左ノ如ク規定スヘシ

「製造許可狀所持工場又ハ國營工場ニ依ル注文ノ引受後三十日内ニ出所ノ如何ヲ問ハス現實ニ締結又ハ引受ケラレタル注文ノ表右注文ノ表ハ左記項目ヲ包含スヘシ

、、、、、、

右注文ノ表ハ總テ常設軍縮委員會ニ依リ嚴ニ祕密ノモノト認メラレ且各締約國ノ同意ヲ得ルニ非サレハ公表スルヲ得

ス」

(二) 第九條ニ左ノ一項ヲ加フヘシ

「締約國ニ依リ提出セラレタル輸出許可狀及輸入許可狀ハ嚴ニ祕密ノモノト認メラレ且各締約國ノ同意ヲ得ルニ非サレハ公表スルヲ得ス」

第十一條

三九、西代表ハ第十一條第二號ニ掲クル武器ハ輸入國政府ヲ經由シテ射撃協會ニ供給セラルルモノナルヲ以テ第十條ノ例外トナラス仍テ同號ハ之ヲ削除スヘシト主張シタリ

四〇、蘇代表ハ第十一條第二號ノ末尾ニ左ノ一句ヲ加ヘンコトヲ提案 (C.C.F./77 參照) シ佛、西、丁、致代表之ヲ支持シタリ

「射撃協會ニ對シ前記器材ノ輸入ヲ許可スルニ當リ各國政府ハ右協會ノ會員數及其ノ射撃用品ノ通常ノ需要ヲ考慮スヘシ」

第十二條

第十三條

四一、土代表ハ第十二條第一項及第十三條ニ對シ態度ヲ留保シタリ

第十四條

四二、佛、瑞典代表ハ第十四條ニ規定スル軍艦ノ輸入ハ要スルニ第八條第五項 (輸入許可狀、同項ハ第一類及第三類ノミナラス第二類ニモ適用アリ) ノ一場合ニ外ナラサレハ特ニ規定スルノ必要ナク同條ハ之ヲ削除スルカ若シ必要アラハ第十四條ノ趣旨 (同條ハ英提案ナリ) ヲ斟酌シテ第八條ヲ補完スヘキナリト述ヘタリ

第十六條

四三、第十六條ハ法律家委員會ノ作成セルモノナリ同條ノ詳細ニ付テハ法律家委員會報告書 (C.C.F./99) 第三項參照

四四、西代表ハ第十六條カ規約第二十二條ニ基ク委任統治制度ニ影響スヘキモノニ非サルコトヲ指摘シタリ

四五、蘇代表ハ第十六條イ項及ロ項ヲ留保シタリ

四六、波代表ハ第十六條イ項及ロ項ノ規定スル場合ト類似ノ他ノ場合カ條約適用ヨリ明白ニ除外セラレサル限り右兩項ニ對シ確定的意見ヲ表明スルヲ得サル旨ヲ聲明シタリ

四七、「アフガニスタン」、支、「イラン」、土代表第十六條イ項、ロ項及ハ項ヲ留保シタリ

○第四章

四八、蘇代表ハ第四章ノ審議開始ニ當リ大要左ノ如キ一般の留保宣言ヲ爲シタリ

「蘇代表部ハ武器ノ製造取引ノ監督ハ國際的性質ヲ有スヘク條約ノ規定スル總テノ情報ハ在壽府國際監督機關ニ通報セラルヘキモノト思考ス委員會今日迄ノ事業ハ未タ右機關ニ名稱ヲ與ヘ其ノ職分ヲ正確ニ決定スルヲ得シメサルカ故ニ蘇代表部ハ將來設置セラルヘキ國際機關ノ名稱及職分ニ關シ留保ヲ附シテノミ公表及監督ニ關スル條約ノ規定ヲ受諾スルモノナリ

在壽府國際機關ニ依ル情報及書類ノ審査ハ不充分ト思考スルカ故ニ蘇代表部ハ必要ナル總テノ調査カ製造現地ニ於テ行ハルコトヲ受諾ス右監督ハ眞實且迅速ナルヘク製造竝ニ取引ニ對シ適用セラルヘシ

地方條約ノ主要點ニ關シ委員會内ニ意見ノ相違アルニ鑑ミ且結局武器ノ製造及取引ニ關スル章ヨリ如何ナルモノカ條約規定トシテ殘存シ得ルカヲ知ラサルカ故ニ蘇代表部ハ第四章ノ各條ニ付詳細ナル意見ヲ表明スルヲ得ス

仍テ蘇代表部ハ米提案ノ原文ヲ討議基礎トスルニ同意スルモ第二讀會ニ於テ修正案ヲ提出スルノ權利ヲ留保ス」

四九、土代表ハ第四章ノ審議終了後大要左記ノ留保宣言ヲ爲シタリ

「吾人ハ監督ニ關スル第四章ト製造及取引ニ關スル第二章及第三章トノ間ニ密接ナル關係アルコトヲ屢々指摘シ來レ

ルカ監督ノ目的物カ未タ具體的ニ決定セラレサル今日土代表部カ監督ノ章ニ對シ意見ヲ表明シ得サルハ自然ノ理ナリ

吾人ハ又機會アル毎ニ武器生産國ト非生産國トノ嚴格ナル均等待遇ヲ主張シ來レルカ吾人ハ總テノ代表部カ右均等待遇主義ヲ目的トシ殊ニ他ノ點ニ於テ意見ヲ異ニセル佛、米代表部ト英、伊代表部トカ此ノ點ニ付テハ其ノ意見ノ合致セルヲ見テ欣快トスルモノナリ

尤モ他章カ確定的ト爲ル迄土代表部ハ第四章ニ關シ第二讀會ニ於ケル行動ノ自由ヲ留保セサルヲ得ス

五〇、塞代表ハ前記代表ノ留保ニ加擔シタリ

第十九條

五一、土代表ハ第十九條第一項ニ關シ本項ニ規定スル專門家ハ委員會ニ依リ三分ノ二ノ多數ヲ以テ選任セララルヘキ旨ノ留保ヲ爲シ波代表之ヲ支持シタリ

五二、本邦代表部及英、伊、波代表ハ第十九條第二項ノ削除ヲ主張シタリ蓋シ此等代表部ハ實地調査ヲ規定スルコトニ反對ナレハナリ

第二十二條

五三、本邦代表部及英、伊、波代表ハ第二十二條第二項、第三及第四項ノ削除ヲ主張シタリ蓋シ此等代表部ハ實地調査ヲ規定スルコトニ反對ナレハナリ

第二十四條

五四、本邦代表部及英、伊、波代表ハ第二十四條第二項末尾ノ「但右情報カ第三十三條第二項ニ規定セララルル免除ノ範圍ニ屬スル場合ハ此ノ限リニ在ラス」ノ削除ヲ主張シタリ

第二十五條

五五、波代表ハ第二十五條第一項ノ削除ヲ主張シタリ

五六、本邦代表部及英、伊、波、塞、土代表ハ第二十五條第三項ノ削除ヲ主張シタリ

第二十六條

五七、土、塞代表ハ第二十六條ノ削除ヲ主張シタリ

五八、波代表ハ本條約ノ實施ハ嚴ニ締約國ノ責任ヲ基礎トスヘク從テ右監督ノ機構ニ私ノ分子ヲ介入セシムヘカラストノ理由ヨリ第二十六條及私人ノ證言、非公式ノ情報等ニ關スル其ノ他ノ諸條項ノ削除ヲ主張シタリ

第二十七條

五九、塞、土代表ハ第二十七條ノ案文全體ニ對シ留保ヲ爲シタリ

六〇、本邦代表部及英、伊代表ハ前記ノ通第二十五條第三項ノ削除ヲ主張セル結果第二十七條ヨリ「第二十五條又ハ」ノ文字ヲ削除センコトヲ要求シタリ

第二十九條乃至第三十三條

六一、本邦代表部及英、伊、波代表ハ第二十九條乃至第三十三條（實地調査）ヲ削除シ之ニ代ヘ第二十九條ニ掲ケラルル英提案ヲ採擇センコトヲ主張シタリ

第三十八條

六二、本邦代表部及英、伊、波、塞代表ハ第三十八條末項ノ削除ヲ主張シタリ

第五章

六三、第五章ニ掲ケラルル諸條ハ法律家委員會ノ作成セルモノナルカ此等諸條文及法律家委員會報告書（C.C.F./89）ハ何レモ今次委員會ニ於テ審議スルノ餘裕ナク一括シテ第二讀會ノ審議ニ讓ラレタリ

六四、A條ニ掲ケラルル伊提案ハ委員會ニテモ法律家委員會ニテモ審議セラレサリシモノ第二讀會ノ爲各國政府ノ研究ヲ

求ムル爲掲載セルモノナリ

六五、B條ノ二トシテ掲ケラルル佛提案亦前記伊提案同様未審査ニシテ同様ノ目的ヲ以テ掲載セラレタルモノナリ米代表ハ同條ニ反對シタリ

六六、C條ニ付英代表ハ單純ナル公表ヲ目的トスル本件條約ニ此ノ種ノ規定ヲ設クルノ必要アリヤ否ヤ疑問ナリトテ態度ヲ留保シタリ

第四章 通過問題

一、和蘭代表部ハ米提案 (Conf. D./157) ニ關スル意見書 (Conf. D./C.F.51) ニ於テ米提案第三章カ武器ノ輸出及輸入ノミヲ規定シ通過ニ付テ規定ヲ設ケサルノ缺陷ヲ指摘シ蘇代表ハ武器ノ通過ニ付テモ輸出及輸入ト同様許可狀制度ヲ設定セントスル提案 (C.C.F./77) ヲ爲シ佛代表ハ輸出許可狀及輸入許可狀ニ輸出入武器ノ豫定經路及通過國ノ表示ヲ記載セシメントスル提案 (C.C.F./79) ヲ爲シタリ

二、蘇提案ノ要旨左ノ通

米提案第八條第二項 (ニ) ノ次ニ (ホ) トシテ左記ヲ加フ

「第一、二、三類ニ屬スル運送品ニシテ第三國ノ領域ヲ通過スルモノニ付テハ通過ヲ許可シタル政府名ノ表示並ニ右政府ニ依リ發給セラレタル通過許可狀ノ引照」

第八條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

「第一、二、三類ノ器材ノ通過許可狀ハ左記ヲ掲記スヘシ

イ、通過ノ許可セラレタル器材ノ指示 (類別、武器、部分品)

ロ、右器材ノ數量又ハ重量ノ表示

ハ、輸出者及輸入名宛人ノ氏名及住所」

第八條ノ次ニ左ノ新條ヲ加フ

「締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル領域内ノ運輸業者ヲシテ本條約ニ依リ輸出、輸入又ハ通過ノ許可狀ノ規定セララルル場合ニハ右許可狀又ハ正當ニ認證セラレタル其ノ謄本ノ提出アルニ非サレハ第一乃至五類ニ列舉セラルル兵器、彈藥及軍用器材ノ運送ノ任ニ當ルヲ得ザラシムルニ必要ナル法律規定ヲ制定スルコトヲ約ス

締約國ハ右許可狀ノ提出アルニ非サレハ税關官憲ヲシテ右運送品ノ通過ヲ許容セシムルヲ得ス

右運送ニ關スル書類ハ運輸業者及税關官憲ニ依リ三年間保存セラルヘシ」

第九條ノ末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

「締約國ハ又左記ヲ常設軍縮委員會ニ送付スヘシ

イ、通過運送品ノ自國領域到着前一切ノ通過許可狀ノ寫

ロ、通過許可狀ニ掲ケラルル運送品カ自國領域ヲ去リタルコトヲ證明スル税關官憲ノ證明書右證明書ハ右運送品ノ外國ニ向ケ出發後一月内ニ常設軍縮委員會ニ送付セラルヘシ

通過ハ本條第一項ニ規定セラルル一切ノ輸入許可狀及輸出許可狀ノ寫ニ別個ニ記載セラルヘシ

三、取引分科會ハ三月十九日ノ會合ニ於テ武器ノ通過取締問題ニ關シ一般討論ニ依レハ各國代表中通過取締ノ必要ニ付テ主義上異論ヲ唱フルモノナカリシモ同問題ハ國際運河、國際河川、自由港、船舶ノ積換、特殊國際條約等トノ關係ニ於テ複雜ナル問題アルコト判明セルヲ以テ取引分科會ハ此等問題ヲ聯盟事務局法律部ニ一括回付シ其ノ意見ヲ求ムルコトトシタリ

四、右要求ニ應シ聯盟事務局法律部ハ交通通過部ト協力シテ國際條約ニ依リ通過ノ自由ノ認めラルル特殊場合ニ對スル通過公表制度ノ適用問題ニ關スル調査報告 (C.C.F./86 及 86(a)) ヲ提出シ其ノ結論トシテ (一) 通過ノ自由ハ通過商品ニ關

スル公表ヲ妨ケス (二) 公表ノ監督ノ結果税關手續ノ設定ヲ見ル場合ニハ通過ノ妨害ト爲ルヘシ (三) 一般條約ニ依ル制限ヲ超過スル武器又ハ交戰國ニ宛テラレタル武器ノ通過國ニ依ル留置ハ通過ノ自由ト抵觸ス (四) 通過ノ自由ヲ設定スル條約ノ非參加國ハ通過ノ自由ノ維持ヲ主張スル權利ナシ (五) 通過ノ自由ノ權利ヲ有スル諸國ハ武器條約ヲ締結スル場合武器條約ニ同條約ノ適用ノ優先ヲ規定スルコトヲ得右明文ナキ場合ト雖モ武器條約ハ其ノ本質上通過條約ニ優先スルモノト解釋ス (六) 巴里規約又ハ聯盟規約ノ違反國ニ關シ右規約參加國ハ報復手段トシテ攻撃國ト締結セル條約ヲ遵守セザルコトヲ得 (七) 通過ノ自由ノ權利ヲ有スル國カ軍縮條約ノ參加國タラサル場合ニハ軍縮條約ハ該國ニ對抗スルコトヲ得ス軍縮條約參加國ハ條約ノ改訂ヲ交渉スルコトヲ得ル旨ヲ明ニシタリ

五、武器製造取引委員會ハ前記報告受領後四月二日ノ會合ニ於テ武器ノ通過ニ對シ監督ヲ設定スヘキヤ否ヤノ主義上ノ問題ニ付再度討議ヲ爲シタリ

右討議ニ於テ蘇代表ハ通過ニ關シ公表及税關ニ依ル取締ヲ規定スルノ必要アルヲ説キ武器ノ通過取締ハ通過ノ自由ニ關スル條約ニ優先スヘキモノニシテ「バルセロナ」條約モ既ニ明文ヲ以テ通過ノ自由カ將來締結セラルヘキ條約ニ依リ制限ヲ受クルコトアルヘキヲ認メ居ルコトヲ指摘シ、佛代表ハ佛提案 (C.C.F./79) ハ輸出許可狀ニ武器ノ通過經路ノ記入方ヲ要求セリ通過取締ニ付テハ種々複雜ナル問題アルニ鑑ミ今日ノトコロ單純ナル公表ヲ以テ満足シ後日常設軍縮委員會ヲシテ更ニ嚴重ナル監督措置ヲ考究セシムルコトトシテハ如何トノ意見ヲ述ヘ米代表ハ第一類乃至第三類ノ武器ニ付通過許可狀制度ヲ採用スルコトニ賛成シ只其ノ實際上ノ適用方法ヲ留保シタリ

英代表ハ英國政府ハ一般的ニ通過ノ取締主義ニ賛成ナリ而テ右主義ノ適用方法ニ付テハ政府ノ訓令ヲ俟テ提案ヲ爲ヘキモ英國政府ノ考慮シ居ル方法ハ通過國ヲシテ通過證ナクシテ武器カ自國領域ヲ通過スルカ如キコトナキ措置ヲ執ラシメントスルニ在ルモノノ如シト述ヘ、波代表ハ英國ノ見解ニ同感ナリ但通過ノ取締ハ實際適用甚タ困難ナルモノアルヘク又海港ナキ國ノ地位ヲ不利ナラシムヘシト述ヘタリ

瑞西代表ハ「バルセロナ」條約ノ規定ヲ引用シテ武器ノ通過取締カ通過自由ノ條約トノ關係ニ於テ困難ヲ生セサルコトヲ指摘シ且通過取締方法トシテ (イ) 通過許可狀制度 (ロ) 輸出入許可狀ニ通過經路ヲ記載セシメ通過國税關ヲシテ監督ニ當ラシムル制度ノ兩者ヲ考ヘ得ル處後者ハ千九百二十五年ノ麻藥條約ノ現ニ採用セルトコロニシテ満足ナル效果ヲ擧ケツツアリ通過許可狀ノ如キ新規ナル制度ヲ採用スルヨリモ税關官吏ノ熟知セル千九百二十五年ノ麻藥條約ノ制度ヲ採用スル方可ナルヘシトノ意見ヲ述ヘ、瑞典、加代表之ニ同感ノ意ヲ表シタリ

伊代表ハ輸出及輸入ノ監督カ嚴格ニ實施セラルレハ通過ヨリ弊害ノ起ルカ如キコトナカルヘシ條約ハ成ルヘク簡單ナルヲ可トス從テ通過ノ取締ニ付複雜ナル規定ヲ設ケサルヲ賢明トスヘシ尙監督取締ハ或國ノ地位ヲ頗ル不利ナラシムヘシト述ヘ通過取締ニ關スル伊太利ノ態度ヲ留保シタリ

六、斯ク武器通過ノ監督ニ對シテハ大體各國代表ヨリ主義上ノ賛成アリタルモ尙本問題ニ關シテハ法律上ノミナラス政治上及實際上複雜ナル問題アルヲ以テ委員會ハ英、米、佛、伊、蘇、波、瑞典、瑞西、「ラトヴィア」、塞十國代表ヨリ成ル小委員會ヲ設置シ右小委員會ヲシテ此等問題ノ全般ニ互リテ更ニ研究セシムルコトトシタリ

七、通過問題小委員會ハ四月四日、五日、八日ノ三回會合シテ審議ヲ遂ケタルモ何等具體的解決案ヲ作成スルヲ得ス結局問題全部ハ第二讀會ニ持テ越スコトシ夫レ迄各國政府ニ於テ充分研究センコトヲ要求スル外致シ方ナカルヘシトノ結論ニ到達シタリ

八、武器製造取引委員會ハ四月十日ノ會合ニ於テ右通過問題小委員會ノ報告 (C.C.F./101) ヲ了承シタリ
九、通過問題小委員會報告ニ依ルニ英代表ハ同小委員會ニ對シ左記提案ヲ爲シ小委員會ハ之ヲ討議ノ基礎トシタリ

「イ」締約國ハ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域内ニ於テ輸出國政府ニ依リ發給セラレタル證明書ニシテ有效ナル輸出許可狀及輸入許可狀カ右證明書所載ノ器材ノ指定目的地ニ對スル輸送ニ付發給セラレタルコトヲ宣言スルモノカ再積載國ノ税關官憲ニ提出セラルルニ非サレハ第一、第二、第三類ニ屬スル兵器、彈藥及軍用器材ノ通過又ハ積換中ニ於ケ

ル再積載ヲ禁止スルコトヲ約ス

右器材ノ再積載ハ新ナル輸出許可狀發給セララルニ非サレハ右證明書ニ明示セラレタル目的地以外ノ目的地ニ對シテハ許可セラレサルヘシ

(ロ) 締約國ハ(イ)項ニ規定セラレタルモノト同様ノ輸出國政府ニ依リ發給セラレタル證明カ稅關官憲ニ提出セララルニ非サレハ第一、二、三類ニ屬スル兵器、彈藥及軍用器材ノ其ノ管轄ノ下ニ在ル地域ヲ通過スル陸上運送ヲ禁止スルコトヲ約ス右器材ハ新ナル輸出許可狀發給セララルニ非サレハ右證明書ニ明示セララル目的地以外ノ目的地ニ向ケテ右領域外ニ輸送スルコトヲ得ス

(ハ) (イ)項及(ロ)項ニ規定セララル證明書ハ左記細目ヲ掲記スヘシ

一、輸送ノ基礎タル輸出許可狀及輸入許可狀ノ引照

二、第一、二、條ノ類別ノ項別ニ依ル兵器、彈藥及軍用器材ノ指示

三、輸送品ノ目的地、名宛人ノ氏名及住所

右證明書ハ關係輸送品ニ隨伴シ輸入國政府ニ依リ保存セララルヘシ

(ニ) 締約國ハ其ノ稅關管轄ノ下ニ在ル領域内ニ在ルコトアルヘキ自由港及自由地帯ニ於テ本條ノ規定ヲ適用スルコトヲ約ス

(ホ) 締約國ハ非締約國ニ對シ有スルコトアルヘキ一切ノ條約義務ニシテ本條ノ規定ト矛盾スルモノヨリ成ルヘク速ニ離脱スルコトヲ約ス右離脱迄何レニシテモ本條約ノ批准ノ日ヨリ二年ヲ超過セサル期間本條ノ規定ハ右條約義務ト矛盾セサルモノノミ適用セララルヘシ

一〇、右英提案ニ對シ伊代表ハ(ニ)項及(ホ)項ヲ留保シテ贊意ヲ表シ、佛代表ハ輸送品ニハ少クトモ輸出許可狀及輸入許可狀ノ寫ヲ附隨セシムルヲ要スヘク又密輸防止ノ爲輸送品附隨ノ書類ノ審査ノ外稅關官憲ノ發意又ハ常設軍縮委員會ノ

發意ニ依リ時々疑ハシキ積荷ニ付テハ内容ノ檢査ヲ爲サシムルコト必要ナリトノ意見ヲ述ヘ蘇代表ハ通過貨物ノ監督ニハ通過國政府ニ依リ發給セララル通過許可狀制度ヲ採用スルコト絕對ニ必要ナリト主張シ米代表ハ第三國ノ經由スル武器ニ付テハ輸出許可狀及輸入許可狀ヲ船荷證券又ハ運送狀ニ附隨セシムル外通過國ノ發給スル一定經路ニ依ル運送ノ許可狀ヲ必要トスル制度ヲ採用スヘシトノ意見ヲ述ヘ塞代表ハ主義上ノ問題ニ付態度ヲ留保シ單ニ通過ノ取締カ武器不生產國ニシテ自由港又ハ自由地帯ヲ使用スルモノノ地位ヲ不利ナラシムヘキコトヲ指摘シ二國條約ニ依リ設定セラレタル自由港及自由地帯ハ關稅上ヨリ見レハ自國領域ト同一視スヘキモノナリトノ意見ヲ述ヘ、波代表ハ「ダンチッヒ」自由市ノ地位及獨波間ノ通過カ法律家委員會作成ノ條文(C.C.F. 99 第十項參照)ニ依リ規律セララルコトヲ條件トシテ英提案ヲ受諾シタリ

第五章 本邦代表部ノ措置

一、今次委員會ノ大勢ヲ見ルニ開會當初ヨリ主要問題ニ關シ意見岐レ就中米、佛、蘇ヲ中心トスル多數派カ武器ノ製造及取引ニ對シ徹底的ニ常設自働的ノ國際監督ヲ實現セシメント努力セルニ反シ英、伊、波ノ小數派ハ國家監督ヲ主眼トシ補足的ニ書府ニ於テ書類審査ニ依リ行使セララル國際監督ヲ設定スレハ充分ナリトノ主張ヲ爲シ兩派間ニ妥協ノ色ナク條約案ノ作成容易ナラサル形勢ナリシヲ以テ我方ハ大體委員會ノ議事ヲ傍聽スルニ止メタリ

二、右小數派ノ主張ハ之ヲ仔細ニ點檢スルニ大體武器問題ニ關スル我方從來ノ主張ニ合致スルモノト認メララル處委員會ハ四月九日ニ至リ兩派ノ提案ヲ對照列舉セル選擇の條文案ヲ作成シ其ノ各條項ニ付テ各國代表部ノ贊否ヲ問フコトト爲リ我方トシテモ意見表明ヲ餘儀ナクセラレタルニ付我方ハ九日及十日ノ會合ニ於テ(イ)類別問題ニ關シテハ全面的ニ態度ヲ留保シ(ロ)製造取引問題ニ關シテハ製造許可制度ノ國營工場ニ對スル適用、國營工場ニ關スル公表、注文ノ公表及製造購入ノ數量又ハ製造購入ノ爲ニスル豫算ノ事前公表ニ反對シテ製造完了武器ノ毎三月ノ價額統計及輸出入武器ノ每

三月ノ價額統計ノ公表ヲ要求スル英提案ニ賛成シ(ハ)監督問題ニ關シテハ實地調査制度ニ反對シテ英提案ノ書類審査ニ依ル補足的國際監督ニ賛成スルモノナルコトヲ當該條項ニ付一々表明シタリ

三、尙我方ハ四月十三日ノ最終公開本會議ニ於テ我方カ前記ノ態度ヲ執レルハ畢竟總テノ國家ノ受諾實施シ得ル如キ實際的條約ノ成立ヲ希望スルカ故ニ外ナラサル次第ヲ聲明シタリ

附

錄